

# 権現山国有林と祭り

和歌山森林管理署

新宮市の街並みを抱くようにそびえる権現山。

標高二五三メートルの千穂ヶ峰を主峰とするこの山は、尾根をはさんで市街地側に面した斜面の大部分が、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のコアゾーンに指定されており、また、権現山の大部分が国有林となっています。



市街地から眺めた権現山

この山の中腹には「ごごびき岩」といわれる巨岩があり、神倉神社のご神体として祀られています。この場所に熊野三所権現が最初に降臨されたと伝えられています。

ここでは、毎年二月六日に女人禁制の勇壮な火祭り「お灯祭り」が行われます。

お祭りの日、夕方頃になると、白装束に胸から腰にかけて荒縄を巻いた姿の「上り子」たちが手に手にたいまつを持ち、ごごびき岩周辺に集合してきます。



お灯祭り

夜も暗くなると、神火から点火したたいまつを手にした上り子たちは山門が開くの而今かとはやりながら待ち、開門と同時に五三八段の石段を飛ぶように駆け下



しだれ桜の咲く頃

ります。上り子の持っていたいまつの火がとも幻想的で、その様子は「山は火の滝下り竜」と新宮節にも唄われています。

神倉神社と国有林は隣接しているため、このお灯祭りの時には、和歌山森林管理署の職員が待機し、国有林に火がまわらないように山火事警防の任務に当たっています。

この三所権現が降臨された神倉神社の「古宮」に対して、権現山の麓にある速玉大社は「新宮」と号したと古書に記されており、これが新宮市の名前の由来になったといわれています。

この速玉大社では毎年一〇月一六日に御船祭がとりおこなわれます。

このお祭りは、速玉大社の主神のひとつである夫須美大神（いざなみのみこと）が神輿で熊野川原まで渡御した後、朱塗りの神幸船に乗って熊野川にぼつりと浮かぶ御船島をめざすものです。この時、九隻の早舟が飛沫をあげて競漕するこの行事は千八百年以上の伝統を有する全国にも類例のないものです。

夫須美大神が神輿で渡御される場所は「御旅所」といわれ世界文化遺産のコアゾーンに指定されていますが、その奥の国有林部分に、大きなしだれ桜の咲く場所があります。

この場所は大きな楠の枯損木がある等やや荒れた状態になっているので、和歌山森林管理署では、より一層地元の人に楽しんでいただくため、この場所の景観の整備を行う計画をしているところです。

しだれ桜の咲く三月下旬頃は是非訪れてみてください。

〒六四六・〇〇一一  
和歌山県田辺市新庄町二三四五・一  
TEL 〇五〇・三二六〇・六一二〇  
FAX 〇七三九・二五・五四三三  
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama>